

# “鮮度一番！”

No.196

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

1 / ひとつコラム

1～3 / 運営委員会で話されたこと

3～4 / お知らせ 編集後記

・・・ひとつコラム・・・

Y.K

商品を購入する際、「ここにポケットがあればもっと良かったのに」、「形状は気に入っているが材質がもう少し良いものだったら」というように、妥協していることはありませんか？

数年前から天然石のブレスレットに興味があり、幾つか購入しました。ブレスレットを形成している天然石には、“健康”、“金運”、“恋愛”などそれぞれに意味があります。購入する際には、店頭で並んだ数あるブレスレットの中から自分に合ったものを探しますが、完全に気に入ったものを探すことはできず、どこかで妥協しておりました。

そのため、デザイン・形状・材質にとことんこだわるため、ブレスレットを自作するようになりました。使用していて気に入らなくなったら、容易に作り変えることもできます。また、自作のメリットとしてはコストを安く抑えられることです。現在、制作している革のトートバッグはお店で購入すると1万円以上はしますが、材料費3千円だけで制作可能です。(制作にかかる人件費・完成度・ブランド力は除きますが・・・)

今年6月に開催された“三条クラフトフェア”では、2日間で4万人の来場があったそうです。子供の頃は、みんな同じノートや鉛筆を使用しており、名前を書いて判別できるようにしておりました。数年前に流行した携帯電話のストラップは、自分の携帯がどれか判別できるくらい個性的でした。現在はどうかのでしょうか？

店頭にあるものの中から一番気に入ったものを購入していた時代から、インターネットで自分の欲求を満たす商品を探することができるようになり、更に自分だけの商品を作ることも可能になっています。

2年前よりランプシェードを作るため、海でシーグラス(波で研磨されたガラス)を集めていますが、いまだに数十個しか集められていません。ランプシェードを作れるくらい集めるためにはあと何年かかるのか。完成する頃には、どんな需要に対する供給社会になっているのでしょうか？

## 運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成27年8月5日(水)(AM9:30～11:30)

場 所 男女共同参画センター(桜木町)

暑い夏ですが、こんな時こそ「断捨離」をして、スッキリ暮らしたいなあ～と思っています。次の休みの日には、絶対やる！必ずやる！多分やれるはず(・・;) )

次回の運営委員会は、2週遅らせて第3水曜日の9月15日(水)9:30～男女共同参画センターです。どなたでもおいでください。

# 1.

## いろいろ報告

### 三条市ユニバーサルデザイン施設利用懇話会に出席して

H.N

7月29日、平成27年度第一回「三条市ユニバーサルデザイン施設利用懇話会」が開催された。

「ユニバーサルデザイン」とは、心身の機能や能力、その時おかれている状況などの違いに関わらず、できるだけ多くの人(車イスの人・妊娠中の人・お年寄り・ケガの人など)が使いやすい環境づくりをすることです。

松本コーディネーターと関係団体委員(7人中5人)、学識経験者2人、公募2人の委員は、大崎中学校区小中一体校建設事業について、基本コンセプト(小中一貫教育や地域開放に対応)のもと、既存小学校と新築中学校の問題・分散された駐車場・教室や廊下の広さ・玄関ホール(小中で1カ所)とアプローチ通路など、各団体の視点からの意見や質疑が行われた。

29年4月の開校が楽しみな私(大崎地区住民)にも、気がかりが1つ。現小学校前の道は狭く歩道は用水路(上)を活用しているため、一体校となり人数が増えることで、生徒と車は大丈夫かな?と、今から一人心配しています。

### 参加 まなびの場「セカンドライフ応援ステーション」への想い

米田美智子

三条市の委託を受けて、シルバー人材センターで「セカンドライフ応援ステーション」という全く新しい発想の事業が始まった。チラシの「しごと ボランティア まなび 参加」のフレーズにほれ、早速、訪問、コーディネーターの石黒栄子さんと30分ほどお話しして、勝手に意気投合してきた。特に意気投合してきたのは「まなび 参加」だ。

今、私の子供時代には考えられなかった子供たちの事件が相次いで起きている。3月に川崎中1殺害事件、7月にいじめがもたらした岩手、中2自殺事件は衝撃的だった。しかし、私が最も衝撃的と感じるのは周囲が危ういと感じていたにもかかわらず、そういう結末にいたったことだ。つまり、子供たちの「他人事感覚」(オレたち、カンケーネー)が、ますます強まっているのではないかという不安だ。人間感覚の希薄化、クラスという運命共同体への参加意識のなさが哀しい。「ジコチューバラバラ化」がますます進んでいるのではとってしまう。

先日、50歳になった教え子たちとの会があった。学級崩壊的になって私は授業不能になったクラスだ。「ア私たち、オレの授業の時はイイコだよ」と、カッコイイ体育の先生のさりげない

言葉が胸に刺さった。しかし、その時、あるグループが、彼らをお宮さんの境内に呼び寄せ、ワ

ッ

君たちを説教してくれたのだ。(卒業後しばらくたってわかったことだが…)

目の前に問題が起きた時、誰かと誰かが動き出して、つられてみんなもそれぞれに動いている間にかフツのクラスになった。今では宴会が最も盛り上がるクラスだ。市議選挙の時、彼らの支援ぶりに感激した。かつては日常の中にそんな物語が生まれた。

我々セカンドライフの世代の役割は、目の前の問題に対して、そんな動きをもう一度とりもどすきっかけづくり、つなぎ役、調整役ではないだろうか。

「セカンドライフ応援ステーション」が、そこに集まった人々により、参加、情報交換、学びの場になったらと、夢を抱いた。否、したいと思う。

## 2. 燕三条エフェム放送(ラヂオは〜と 76.8MHz)ワイワイ女性ひろば

●本放送 毎週金曜日 11:00~11:30 ●再放送 毎週水曜日 19:30~20:00

8月のテーマ「いっしょに!~変わる、わたし+あなた。暮らしやすいまちに。~」

- ① 男のロマン、女のロマン
- ② 男の不在、父の不在
- ③ デキる夫は内助も一流
- ④ 男性介護者に贈る言葉

メンバー：捧 裕一郎（三条市市民部市民窓口課課長）  
野崎ミチコ、田辺とも子

各週のテーマに挑発的と受け止める向きもあるかもしれませんが、8月は男性応援月間と銘うち、話を展開しました。今月の大テーマは、三条市の第2次三条市男女共同参画推進プランの行動理念です。より良い男女共同参画社会を目指して、ひとりひとりの「わたし」と「いっしょに」、あらゆる主体が様々な取り組みに関わりながら、次の世代へつなげていきましょう。という考えのもと、基本目標のひとつである「それぞれの生き方を目指そう」を視点に据えました。男性への愛あるメッセージをお汲み取りいただければ幸いです。(田辺)

## 3. 8月21日又エック/男女共同参画推進フォーラムについて

三条市のバスに乗り、埼玉県比企郡嵐山町にある国立女性教育会館(又エック)へ行き、一日研修を受けて来られるのに、なんと参加費無料の優良物件(?)もののフォーラムへ西方、野崎が申し込みました。

21日の午前は、各自が選んだワークショップに参加して、午後からは、シンポジウム「北京世界女性会議~あの時、今、そしてこれから」です。以前、三条市のひとひとフォーラムで講演をしてくださった有馬真喜子さんや「女性の品格」の著者坂東真理子さん、「全日本おばちゃん党」の谷口真由美さん、そしてその道のプロの船橋邦子さんや林陽子さんらがパネリストです。どうぞ皆様、参加報告をお待ちください!

## 4. 20周年記念研修について

三条女性会議の20周年を記念して、泊りがけの研修を行うことが総会で決まりましたが、行く研修場所について話し合いました。

第一の候補は、松井やよりさんの遺志により設立された女性たちの歴史資料館「女たちの戦争と平和資料館(wam)」とwamの姉妹団体である「アジア女性資料センター」です。どちらも「戦争と暴力の世紀」と言われた20世紀の女性の歴史を伝えているようです。

次回にまた、話し合うこととしましたので、何かよい提案等がありましたら、お寄せくださいますようお願いいたします。

### 【お知らせ】

#### ◆リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 にいがた

「リレー・フォー・ライフ」は、がん経験者とご家庭・ご遺族、支援者ととともにがんと向き合うきっかけとなる、がん征圧・がん患者支援のイベントです。

日時：2015年9月21日午後1:00⇒22日午前10:00

会 場 : 新潟県スポーツ公園(新潟市中央区清五郎)  
内 容 : リレーウォーク  
参加費 : 1,000円 (がん患者・がん経験者・高校生以下、参加費無料)  
申込・問合せ先 : リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 にいがた  
実行委員会 事務局 担当: 奥村  
Email: rflj.niigata@shinsen.biz  
Fax:025-243-7041 Tel:080-2372-2988

※ご協賛・ご協力をお願いします。

一般協賛金 一口 10,000円(複数口可) 特別協賛金 一口 30,000円(複数口可)  
〈振込先〉 第四銀行 本店営業部(支店コード 200) 普通預金 2670222  
口座名 リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 にいがた  
実行委員長 伊藤みずほ

### ◆働く女性のためのビジネスコミュニケーション

働く女性にとって「コミュニケーションは大切」と言うけれど。自分のコミュニケーション「これでいいの?」「もっと良好にしたい!」と思いませんか?

このセミナーでは「聴く」「訊く」「伝える」というビジネスコミュニケーションの基本を演習でしっかり身につけます。

日 時 : 9月26日(土)10:00~17:00

会 場 : 新潟県女性センター女性団体交流室2(新潟ユニソンプラザ2階)

定 員 : 現在働いている女性20人

参加費 : 5,000円(三条女性会議会員は、割引あり)

申込・問合せ : (公)新潟県女性財団(TEL025-285-6610)

### ◆日本子ども虐待防止学会 第21回学術集会にいがた大会

“つながりへのチャレンジ”

日 時 : 2015年11月20日(金)・21日(土)

会 場 : 朱鷺メッセ(新潟市中央区万代島6-1)

大会長 : 斉藤昭彦(新潟大学医学部小児科 教授)

内 容 : 20日シンポジウム「つながりを失った子どもたち  
~孤立家庭、居所不明児の問題を考える~」・特別講演等

21日シンポジウム「戦争体験と子ども虐待  
~トラウマの世代間連鎖から考える~」・教育講演等

参加費 : 学会員9,000円 非会員10,000円 学生3,500円

申 込 : 学会ホームページ <http://www.jaspcan.org> よりお申込みください

問合せ先 : 大会事務局 新潟大学医学部小児科学教室内

E-mail : [jaspcan2015@gmail.com](mailto:jaspcan2015@gmail.com) Fax : 025-227-0778

#### 編集後記 :

お盆の最中にパソコンが壊れました。データが全部消えてしまいメールも使えず・・・大パニックです!自分の危機管理体制のなさに、自戒の念をもって仕上げた鮮度一番196号です。どうぞ隅から隅までお読みください。

発行が大変に遅れましたこと深くお詫び申し上げます(原)



編集発行 : 三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先 : 三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス : <http://www.joseikaigi.net>